

# 再発防止対策本部会議（第5回）議事録

## 1 開催日時

令和元年10月17日（木）10時00分～11時03分

## 2 場 所

磐田市役所 西庁舎3階 304・305会議室

## 3 出席者

本部長（市長）、副本部長（副市長）、部局長12名 計14名  
事務局：秘書政策課、広報広聴シティプロモーション課

## 4 会議内容

1 開 会 ※進行は副本部長

2 本部長（市長）あいさつ

不祥事が報道で発覚して以来、全職員を対象とした実態調査の分析や検証委員会（第三者委員会）を開催してきた。心に隙があると大きな問題に発展するということを肝に銘じること。今回の事件を自分のこととして考え、確実に再発防止策を練り上げていく。職員の気持ちの掌握も含めて、幹部として管理監督を徹底してほしい。職場環境や人間関係の改善など課題は諸々あるが、風通しの良い職場をつくることが大前提である。グループ長は仕事の管理監督、課長は課の教育とマネジメント、部長はそのトータルのマネジメントを自らの役割として、きちんと担っていくこと。

### 3 協議事項

#### (1) 公契約関係競売入札妨害事件の概要と再発防止策（たたき台）について 資料

- 事務局                    事件の概要と再発防止策をたたき台として作成した。  
目次のように1～10に分けて構成している。1のはじめにと10のおわりには後日記載する。  
まず事件発覚から今日までの取り組みとして、2事件の概要、3事件発覚後の経緯、4処分、5原因究明と再発防止に向けた検討、6事件の原因究明に向けた取り組みとなっており、これまで本部会議に報告してきたものをまとめている。次に職員実態調査等から分かったものとして7事件の原因分析と課題の整理として分析結果をまとめ、8再発防止に向けた取り組み、9再発防止に向けた取組体制として、具体的な取り組みを明記した。  
なお、29ページ以降に再発防止策の具体的な取り組みを載せているが、それぞれの取り組みに、その「対象」と「実施責任者」を明記した。また40～41ページには取り組みスケジュールの表を掲載している。  
再発防止策を組み立てるにあたって職員実態調査（アンケート）結果がベースとなっており、原因となる根っこを深く掘り出して作成しているため対策も多岐に渡っている。
- 委員                    : 「市長等の政治倫理に関する第三者機関」「入札制度を監視する第三者機関」「コンプライアンス委員会の第三者機関」のイメージはどういったものなのか。
- 事務局                    : 「市長等の政治倫理に関する第三者機関」は市長等の特別職に何らかの事案が生じた場合に、市長の申し出等により臨時的に設置するもの。  
「入札制度を監視する第三者機関」は、市で行った入札結果について抽出してチェックする機関。  
「コンプライアンス委員会」は、職員による不祥事等が生じた場合に、全ての案件を庁内だけで完結させず、第三者からご意見をいただくもので再発防止対策検証委員会（第三者委員会）のイメージに近い。
- 委員                    : 不正を絶対に許さない土壌に努め、不正が発生した場合には、厳格に対処するといった覚悟を目立つ場所に記載した方がよいのでは。
- 委員                    : 職員の意識改革が一番重要だと考えている。今後、再発防止の実施責任者の役割が大事である。
- 委員                    : これから職員に周知していくには、絶対に読ませたい部分と資料編を分ける。例えば28ページ以降の「再発防止に向けた取り組み」は前にもってきた方がよい。

- 委員 : 「実施責任者」を記載し、部課長が取り組みの責任をとることを明確にしたことは良い。その意識をどうやって持たせていくかが今後大事になってくる。
- 委員 : 取り組みの実施時期は明確にすべきであり、「実施スケジュール」が分かり易く記載されている。
- 委員 : 実施責任者が「職員課」や「総務課」になっている項目について、組織が違う「消防」や「病院」も統率できるよう、部局長の役割が重要である。
- 委員 : 職種が異なる病院職員に再発防止策をどう落とし込んでいけばよいか考えないといけない。
- 委員 : 再発防止策を具体的かつ明確に明記したことに賛成。職員が各項目についてチェックできるリストになる。  
一方でこのボリューム感が職員にとって拒否感につながらないように、部課長が丁寧に説明しながら下していく必要がある。
- 委員 : 不祥事を起こすと厳しく処分するということだけでなく、再発防止策に一人ひとりが真剣に取り組むことで、組織が職員を守ることが根底にないと受け入れられないのではと思う。
- 委員 : 部課長が職員課に任せて傍観者にならないように、全庁一体となって自分事として取り組んでいく必要がある。
- 委員 : 再発防止策に目を通して、緊張感が高まる、身が引き締まる内容になっている。内容はとても多く見えるが欠くことができない内容になっていると思う。
- 副本部長 : 本日の本部会議では、たたき台の「内容」については了承を得た。掲載の順番などの構成については再度、事務局で見直し、修正を行い部局長の了解を得たうえで、今後、再発防止検証委員会等に資料提供していく。

#### 4 その他 事務連絡

#### 5 閉会